

砂防講演会を開催！



毎年6月は「土砂災害防止月間」です。立山砂防事務所では、「土砂災害防止月間」にあわせて、土砂災害の恐ろしさや土砂災害の防止、砂防事業の必要性・重要性について、地域の皆様に理解を深めて頂くため「砂防講演会」を開催しました。

日時：令和元年6月8日(土) 10:15～12:00

場所：オークスカナルパークホテル富山

参加数：約180人

◆プログラム◆

開会挨拶 立山砂防事務所長 野呂 智之

○講演1「幸福の地 ブータンが語りかけてくるもの」

吉友 嘉久子氏（立山砂防女性サロンの会アドバイザー）

○講演2「広島県の土砂災害と対応」

三上 幸三氏（国土交通省 大臣官房付(元広島県土木建築局長)）

主催：国土交通省立山砂防事務所、立山砂防女性サロンの会



会場の様子



開会挨拶



砂防パネルを展示



開会挨拶：野呂 智之 事務所長

○開会挨拶

毎年6月は土砂災害防止月間であり、啓発や周知に関する活動に力を入れています。立山砂防では毎年砂防講演会を開催し、富山県各地では防災訓練を行っています。本日の講演は富山ではお聞きすることが少ない貴重な話題であり、防災対策に関する新たなヒントを得ていただきたいと思います。



講演1：吉友 嘉久子氏

○講演1

ブータンでは、国民総生産よりも国民総幸福量が重要とされている。災害に見舞われない安心安全な国土づくりは大前提であるが、何が人間を幸せにするのかということと同時に考えていく必要がある。ブータンには、揺るぎない伝統を守る力があり、私達もそこから学ばなければならない。



講演2：三上 幸三氏

○講演2

平成30年7月豪雨災害では、広島県内で多くの人的被害やライフラインが被災した。異常気象は土砂災害リスクを高め、計画の前提を超える自然現象も発生しうる。土砂災害から命を守るためには、日頃から関係者で連携を図り、地域全体で避難の声かけや安全確認を行うことが大切である。